

取扱い上の注意

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございました。
ご使用の際は、下記の注意事項をよくお読みになり十分ご理解の上、正しくご使用下さい。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管して下さい。

《事故防止のための注意事項》

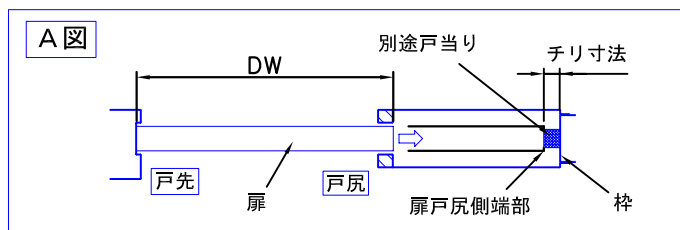
- 仕様外の扉寸法、扉質量へのご使用は避けて下さい。
- 本機器はブレーキが効かなくなると扉が勢いよく閉まり、指をはさんだり、接触及び転倒事故の危険があります。万一油の漏れや部品の破損等により、速度調整をしてもブレーキが効かなくなった場合は、速やかに機器をお取り替え下さい。
- 装置の分解・改造をしないで下さい。万一された場合、以後の保証は致しかねます。
- 機器の取付ネジは確実に締め付けて下さい。機器の破損及び事故の原因となります。
- ハンガー車用外れ止めは必ず取付けて下さい。扉が脱輪し転倒する危険があります。
- 戸尻側へ戸当りを必ず設置して下さい。

【扉閉扉時の扉戸尻側端部から枠までのチリがある場合は、チリ部分への戸当りの取付けを行って下さい：右下A図参照】

- 部品を落としたり、叩いたりしないで下さい。故障の原因となります。
- クローザにより扉は自閉しますので、無理に扉を速く閉めないで下さい。扉が勢いよく閉まり、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- 子供が扉にぶら下がって遊ばないようにご注意下さい。

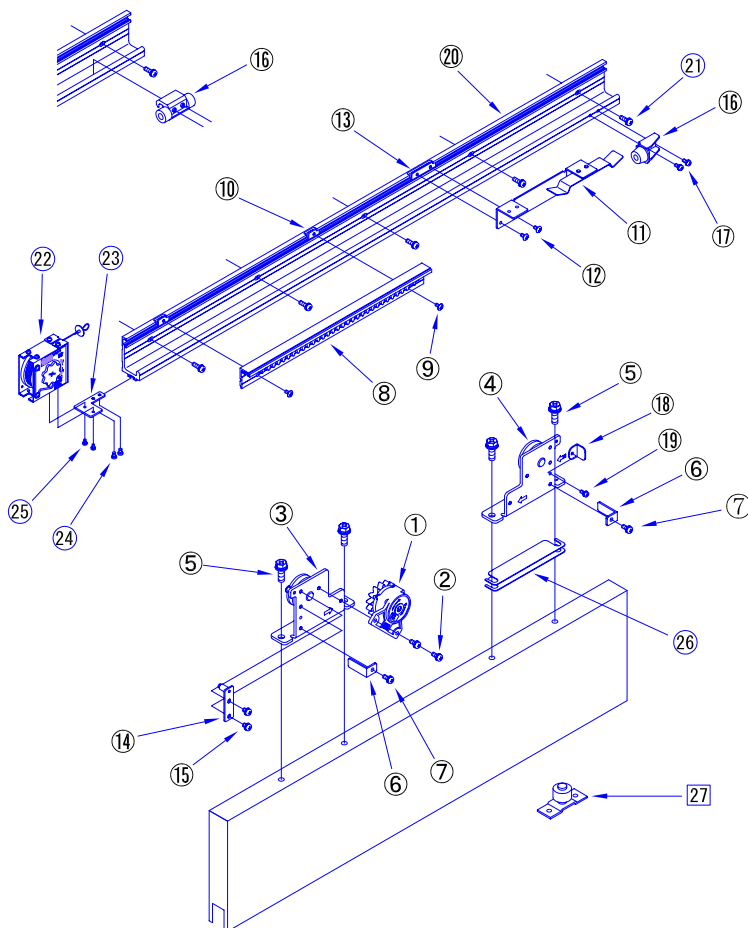
《永くご使用して頂くための注意事項》

- レール及び戸車に付着したゴミ等を拭き取って下さい。
- ネジの緩み等異常がないか、定期的に点検を行って下さい。



部品明細

※1. 部品には右引き、左引きの勝手があります。本図は右引き（右勝手）を示します。
【右引き・左引き共に戸先用のハンガー車にはワイヤー固定ビスが組付けられています。】



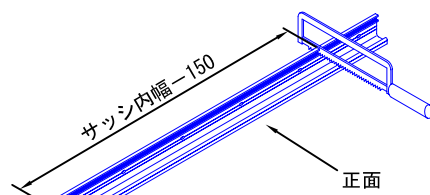
No.	部品名称	数量	備考
①	制動装置	1	
②	M5×12 なべ小ネジ	2	制動装置用
③	ハンガー車（戸先用）	1	
④	ハンガー車（戸尻用）	1	
⑤	M8×25 六角ボルト	4	ハンガー車用
⑥	ハンガー車用外れ止め	2	
⑦	M5×10 なべ小ネジ	2	外れ止め用
⑧	制動ラックセット	1	
⑨	M4×8 トラス小ネジ	2	制動ラック用
⑩	プレートナット	2	制動ラック用
⑪	全開ストッパー	1	
⑫	M4×8 トラス小ネジ	2	全開ストッパー用
⑬	プレートナット	2	全開ストッパー用
⑭	ストップローラ	1	
⑮	M5×8 なべ小ネジ	2	ストップローラ用
⑯	戸当り（固定式）	1	
⑰	戸当り（調整式）	1	
⑱	M4×10 なべ小ネジ	2	戸当り（固定式）用
⑲	戸当り当て板	1	
⑳	M4×10 なべ小ネジ	1	戸当り当て板用
㉑	レール L=2200 [2800]	1	セット外部品
㉒	M5×16 なべ小ネジ	10	セット外部品
㉓	引込パネ	1	
㉔	引込パネ取付金具	1	
㉕	M4×5 なべ小ネジ	2	引込パネ用
㉖	M3×8 なべ小ネジ	2	引込パネ用
㉗	高さ調整板（t=1.0）	4	
㉘	ガイドローラ	1	オプション

取付手順（本図は右引きを示します。左引きは本図と対称になります。）

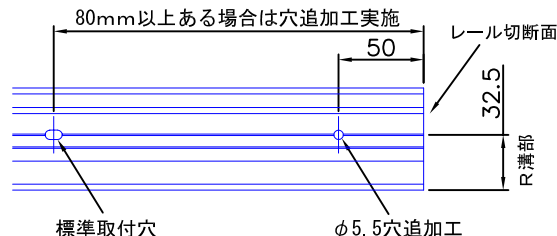
① レールの取付け

① レールの切断、取付穴の追加加工

- サッシ内幅より150mm引いた寸法でレールをカットして下さい。
- カット方向は
 - 右引きの場合は正面から見て、右側をカットして下さい。
 - 左引きの場合は正面から見て、左側をカットして下さい。



- レール切断面から、標準取付穴までの寸法が80mm以上ある場合は、端面から50mmの位置に、レール取付け用の穴φ5.5を追加加工して下さい。

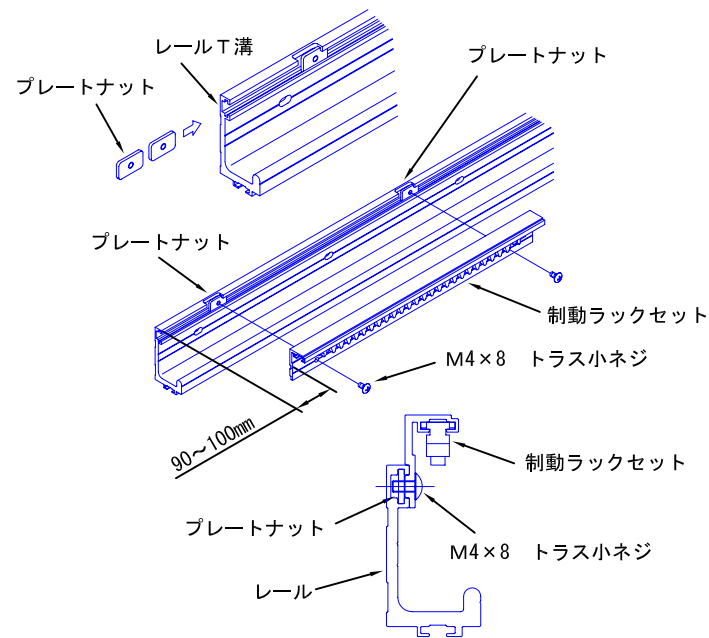


- レール加工時、走行面にキズをつけないよう注意して下さい。



② 制動ラックセットの取付け

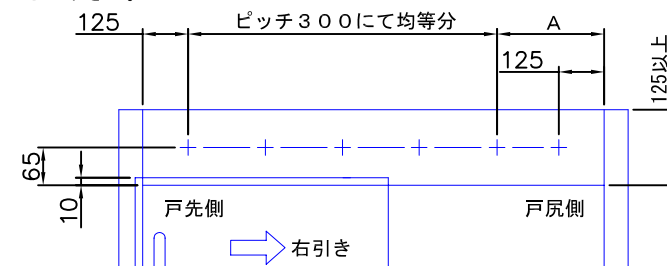
- レールのT溝にプレートナット（2ヶ）を挿入して下さい。
- プレートナットの位置を、制動ラックセットの取付穴位置に合わせ、付属のネジ（M4×8 トラス小ネジ）で制動ラックセットを取付けて下さい。



- 必ず指定の付属ネジを使用して下さい。制動装置のクラッチギヤに当たる恐れがあります。
- 異音、制動不良の原因になりますので、ネジは確実に締め付けて下さい。

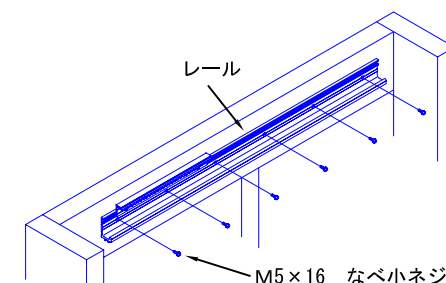
③ レール取付穴の設定

- 下記の位置を基準穴とし、水平に300ピッチ毎にタップ加工（M5 ピッチ0.8）して下さい。
 - 戸先側のサッシ内側からの寸法=125mm
 - サッシ上枠下面からの寸法=65mm（サッシ上枠と扉のかぶりがない場合）
- 右下A寸法（300ピッチ最終穴位置から戸尻側サッシ内側までの寸法）が155mm以上ある場合は、サッシ内側より125mmの位置にタップ加工して下さい。

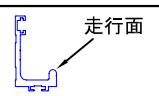


④ レールの取付け

- レールを付属のネジ（M5×16 なべ小ネジ）で取付けて下さい。

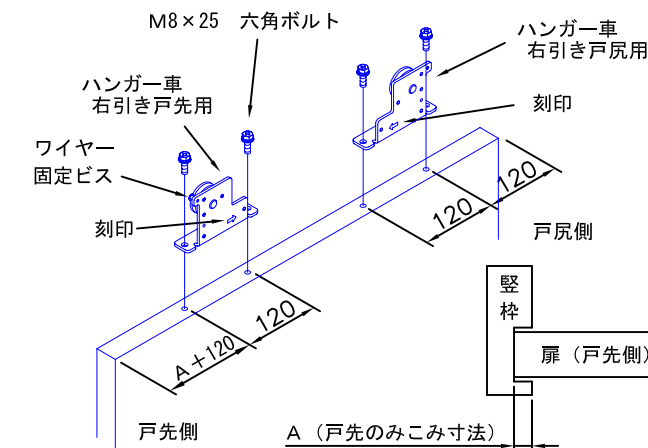


- 取付け後は、レール走行面にキズやペンキがつかないように養生して下さい。

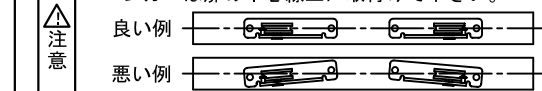


2 ハンガーの取付け

- 図のように戸先用と戸尻用それぞれのハンガー車の矢印（刻印）が扉の内側に向くようにハンガー車を取付けて下さい。
- 右引き・左引き共に戸先用のハンガー車にはワイヤー固定ビスが組付けられています。



- ハンガーは扉の中心線上に取付けて下さい。



③ ガイドローラの取付け (オプション)

- 扉の重なり部中央に取付けて下さい。(取付けネジは付属していません)
- 扉が床面と垂直になるように取付けて下さい。

④ 扉の吊り込み

① 扉の吊り込み

- 扉吊り込み前に、レール走行面に付着している汚れを拭き取って下さい。
- 扉の下部をガイドローフに合わせて、戸車をレールに吊り込んで下さい。
- 扉がスムーズに開閉できることを確認して下さい。
- 扉と壁との隙間は、高さ調整板の使用枚数を増減し、調整して下さい。

② ハンガー車用外れ止めの取付け

- 戸先側及び戸尻側のハンガー車に外れ止めを付属の取付けネジ (M5×10 なべ小ネジ) にて取付けて下さい。

⑤ 戸当りの取付け (固定式/調整式)

- 戸当り当て板を付属のネジ (M4×10 なべ小ネジ) で、戸尻側のハンガー車に取付けて下さい。
- レールに下図の寸法を目安にしてM4タップ加工 (2箇所) をして下さい。
- 戸当りを付属のネジ (M4×10 なべ小ネジ) でレールに取付けて下さい。

● 戸当りをレール走行面に挿入して下さい。戸当りをスライドさせて開扉位置を調整後、固定ネジ (2本) を締め付けて戸当りを固定して下さい。

- 戸当りがずれる恐れがありますので、固定ネジはしっかりと締め付けて下さい。

⑥ 制動装置の取付け

本制動装置は左右勝手兼用です。クラッチギヤ組み込み方向により左右勝手が異なります。クラッチギヤの組み込み、組み替えを行う際は、下記の手順に従い実施して下さい。

① クラッチギヤの組み込み・組み替え

(1) クラッチギヤの組み込み

- 制動装置本体シャフト部にフッシャーを挿入して下さい。
- クラッチギヤをシャフトに挿入して下さい。
- 右開き用の場合
クラッチギヤ中心部白色面 (R捺印面) を上側にし、下図右開き用矢印方向に回転させながら挿入して下さい。
- 左開き用の場合
クラッチギヤ中心部青色面 (L捺印面) を上側にし、下図左開き用矢印方向に回転させながら挿入して下さい。
- シャフト先端溝部にスナップリテーナを横から取付けて下さい。

(2) クラッチギヤの組み替え

- 組み込み手順を逆にし、クラッチギヤを取り外して下さい。(クラッチギヤは組み込み時と同じ方向に回しながら取り外して下さい)
- 組み込み手順に従い、クラッチギヤを組み込んで下さい。

- クラッチギヤの挿入及び取り外しは、必ず指定の回転方向に回しながら行って下さい。無理に行くと、クラッチギヤが破損する恐れがあります。

② 制動装置の取付け

- 制動装置を付属のネジ (M5×12 なべ小ネジ) で、戸先側のハンガー車に取付けて下さい。
- 扉を60cm以上開いた状態 (制動フックセットと噛み合わない位置) で取付けを行って下さい。

- 制動装置の左右勝手を確認して下さい。勝手に逆に付けると制動が効きませんのでご注意下さい。
- 制動装置の取付けは、必ず扉吊り込み後に行ってください。吊り込みの際、レール等につぶつけて破損する恐れがあります。

⑦ 引込バネの取付け

① 引込バネの取付け

- 引込バネ取付金具に付属のネジ (M4×5 なべ小ネジ) を仮締めし、レール下側のT溝に挿入して下さい。
- ネジを締め付け金具を固定して下さい。
- 引込バネを付属のネジ (M3×8 なべ小ネジ) で、引込バネ取付金具に取付けて下さい。

- ワイヤーに傷が付く恐れがありますので、引込バネ単体で (取付け前に) ワイヤーを引き出さないで下さい。

② ワイヤーのセット

- 引込バネのワイヤーを引き出し、戸先側ハンガー車のワイヤー固定ビスに引っかけて下さい。

⑧ 全開ストップ装置の取付け

① ストップローラ、全開ストッパーの取付け

- ストップローラを付属のネジ (M5×8 なべ小ネジ) で、戸先側ハンガー車に取付けて下さい。
- レールのT溝にプレートナットを挿入し、全開ストッパーを付属のネジ (M4×8 トラス小ネジ) で取付けて下さい。

- 必ず指定の付属ネジを使用して下さい。他の部品と接触する恐れがあります。

② ストップ位置、ストップ力の調整

- 扉全開位置でストップするよう、板バネの位置を調整して下さい。
- ストップローラ位置を上下させて、ストップ力を調整して下さい。
- ストップ力を強くする → ストップローラ位置を上げて下さい
- ストップ力を弱くする → ストップローラ位置を下げて下さい

⑨ 閉じ力、閉じ速度の調整

① 閉じ力の調整

- 閉じ力の調整が必要な場合は、ギヤシャフトをマイナスドライバーで回して調整を行って下さい。

- 強方向への巻き込み過ぎは故障の原因となりますので、必ず本体フベルの巻き込み回転数以下に設定して下さい。

② 閉じ速度の調整

- 制動装置の调速ネジをマイナスドライバーで回し、閉じ速度の調整を行って下さい。(出荷時は一番速い状態に設定してあります。)

- 制動フックセットの位置をスライドさせて制動区間を調整し、閉じ速度の調整を行って下さい。
- 制動区間を短くする (戸先側へスライド) → 閉じ速度が速くなります
- 制動区間を長くする (戸尻側へスライド) → 閉じ速度が遅くなります

- 调速ネジは軽い力で回し、突き当たり後は無理に回さないで下さい。周囲温度の変化により多少閉じ速度が変化します。温度が高いと速くなり、低いと遅くなります。

以上で取付け完了です

株式会社ラビット
大阪本社 〒542-0082 大阪府大阪市中央区島之内2-13-7
TEL 06-6211-7335